

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市山科老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業および介護予防通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）の実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ・通所介護および介護予防通所介護事業とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
- ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所・通所介護計画に基づく個々のご利用者の生活支援を目指したサービス提供、個別機能訓練計画に基づく個別機能訓練の実施
- ・徹底した感染症対策を講じた個人および小グループレクリエーションの実践による心身機能の維持向上や社会的交流、生活の充実のための支援
- ・個々のご利用者・家族に対する相談援助と関係機関との連携協働した介護と暮らしの支援
- ・サービス向上に向けてユーザーアンケートの実施と課題改善、職員に対する内部研修や勉強会に取組む。特に、新型コロナウイルス感染症予防対策、介護事故および虐待防止・ハラスメントの防止、認知症ケア、コンプライアンスや共生社会など重点化
- ・苦情・事故などに係わる改善対策の検討およびリスクマネジメントについて、ミーティングと月毎の振り返り、研修の実施
- ・なお、感染対策や3密回避のため、既存のサービスおよびプログラムの休止延期の継続
- ・非常時災害対策に係わる災害時避難訓練および防災計画、BCP（策定継続）の実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者：1名 副施設長兼務生活相談員：1名 看護職員：2名 機能訓練指導員：5名
介護職員：10名 運転手：4名 調理員：4名 その他：1名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約とする。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行う。

5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) のべ利用者数(実績値)

7378 人

(2) 利用登録者数(実績値)

997 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	77,112,498
利用料収入	4,688,434
委託料収入	0
補助金収入	0
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	34,498,542
収入計	116,299,474

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	75,997,962
事業費	18,473,530
委託費	0
小額修繕費	0
その他	21,822,982
支出計	116,294,474

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

ご利用者・家族を対象としたユーザーアンケートを実施
【内容】施設サービスおよび職員対応について、11項目、4段階評価、無記名式
【時期】令和5年1月~2月
【回収率】50.0%

(2) 利用者満足度把握の結果

【送迎】	満足:75.0%	やや満足:16.7%	やや不満:0.0%	不満:0.0%	無記入:8.3%
【入浴】	満足:72.2%	やや満足:16.7%	やや不満:0.0%	不満:0.0%	無記入:11.1%
【食事】	満足:72.2%	やや満足:16.7%	やや不満:2.8%	不満:0.0%	無記入:8.3%
【レクリエーション】	満足:30.6%	やや満足:22.2%	やや不満:5.6%	不満:2.8%	無記入:38.9%
【機能訓練】	満足:47.2%	やや満足:27.8%	やや不満:2.8%	不満:0.0%	無記入:22.2%
【全体満足度】	満足:69.4%	やや満足:11.1%	やや不満:2.8%	不満:2.8%	無記入:13.9%

その他、配慮、職員の言葉遣いや態度、身だしなみ、あいさつ、相談・要望・苦情、施設の使いやすさや衛生管理、感染症対策などの質問項目。

(3) 意見等への主な対応状況

- ・定例会議やミーティングなどにおいて、アンケート結果を基に協議および改善に取り組む
- ・経年のコロナ禍で、徹底した感染対策および3密回避のプログラム実施の徹底した継続より、「レクリエーション」の項は、「満足度」が顕著に低下した、過去の集団レクリエーションの賑わいや高揚感、満足感、ご利用者の思いが数字が語る、次年度は政策・感染動向に基づき、見直しと改善に取り組む
- ・経年比では「満足度」が高い率であっても、「やや不満」「不満」「無記入」が一定の率を示している項目について、ご利用者・家族、関係機関との折々に思いや要望の聴きとり、おひとりお一人の意思決定を大切にされたプログラムの見直しや開発が課題となる

7 その他特記事項

(1)

- 経年の感染症対策下、地域公益活動の取組形態の変更や中止を、昨年同様に余儀なくされた
- ・「やましな認知症サポート連絡会」に参画して、相談窓口、徘徊行方不明者の捜査協力を実施。啓発イベント中止、本人・家族・関係者による啓発活動と認知症サポーター養成講座は実施できた
- ・併設老人福祉センター・区社会福祉協議会、近隣児童館と連携した取組みのうち、ご利用者と各種サークル・児童との「世代間交流」「区内ボランティアグループの活動支援」は中止し、実施形態を見直した乳幼児親子向け「あそぼらんど」「クリスマス会（サンタクロース派遣）」は取組むことができた
- ・施設ボランティアの「コーディネートと活動支援」では、新規ボランティアの受入休止、活動の一時休止、経年活動する高齢者ボランティアの活動引退があった
- ・学区社会福祉協議会、区ボランティアセンター、大学教育機関（京都橋大学）の活動・研修などでは、実施形態を見直して、講師派遣や地域福祉活動の支援に取組めた
- ・学区の地域団体（社協・自治連、商店会）、福祉施設・団体などと協働・連携して地域イベントなど地域公益活動は中止となった
- ・左京・東山・山科区の法人通所介護事業所の協働による職種別会議・情報交換・研修は、延期、もしくは一部オンラインで実施できた。一方で、それを補うために施設単独で、感染症対策やケアの質の改善、ハラスメント防止、介護技術等に係わる研修や勉強会、その実践に取組んだ
- ・人材の育成と定着促進のため、新任職員向けの施設独自マニュアルとプログラムの試行、見直しに取組んだ
- ・介護保険事業者や医療事業者との公益的連携では、「デイ部会」の活動休止の一方で、京都市在宅医療・福祉連携支援センターの研修会や意見交換会に参加した
- ・次年度は政策及び感染動向、活動再開状況を踏まえ、上記の地域公益取組・地域福祉活動支援に取組む

(2)

- ・京都市および法人指針に沿い感染症対策のもと、チャレンジ就労体験事業の通年体験受入れ、ひきこもりや生活困窮者の社会生活自立支援および就労自立支援への事業協力に取組めた。

8 評価（指定管理者自己評価）

- ・年度を継続し感染症対策の維持および強化、指針やエビデンスに基づき一部弾力化に取組んだ
- ・業務改善・サービス向上、事故再発の防止、不適切ケアの防止、ハラスメント防止、災害時対策・訓練など、職員会議やミーティングによる会議・学習活動・訓練等により、理解と実践の取組みを進めた
- ・ユーザーアンケートの他に、訪問活動の断続的自粛の中で居宅介護事業者・地域包括支援センターと随時の情報交換、ご利用者とご家族のニーズの聴き取りや暮らしの把握につとめ、サービスの改善や提案などの取組みを進めた
- ・新型コロナウイルス感染症および感染対策等のこの3年間の情勢や環境の中で、厳しい運営状況収益の悪化が続いてきた

<今後の取組み>

- ・行政および法人の指針・対策に沿い感染対策と安全と安心のサービス提供を継続し、厳しさを増す運営状況や利用状況に対して業務改善と収益改善に取組む
- ・ご利用者一人ひとりに寄添うケアとサービスの点検・改善の取組み、地域の介護ニーズや在宅要支援高齢者の暮らしと介護ニーズの把握によるサービス改善に取組む
- ・職種・業務レベルに応じた内部研修・勉強会、ZOOMやeラーニングの活用により実施、共有協議による職員一人ひとりの成長と施設の「サービスの質」の底上げに取組む
- ・業務コストの管理・縮減の取組、および老朽化する施設設備・備品の計画的修繕・更新により、安心・安全・快適・満足の施設づくりに取組む